

深川市議会
「令和8年 議会報告会」
報告書



令和8年6月3日
議会報告会実行委員会

議会報告会の開催にあたり

去る6月3日に開催いたしました議会報告会に際しまして、お忙しい中、多くの市民の皆様に足を運んでいただき、心より御礼申し上げます。

本報告会は、昨年に続いての開催となりましたが、本年は前回の反省点や皆様からお寄せいただいた御意見を踏まえ、より多くの方に御意見を述べていただけるよう内容を検討いたしました。その結果、第1部では委員会報告、第2部では5つのグループに分かれての意見を聴く会を実施いたしました。

意見を聴く会では、各グループにおいて活発な意見交換が行われ、多くの貴重な御意見をいただくことができました。皆様から頂戴した御意見につきましては、今後の議会活動はもとより、市政のさらなる発展に生かしてまいりたいと考えております。

また、ご参加いただいた皆様はもちろんのこと、ポスター掲示に御協力いただいた皆様にも、改めて厚く御礼申し上げます。

今後とも深川市議会の活動に対しまして、より一層の御理解と御協力をお願い申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

議会報告会実行委員長 有働 正夫



令和8年深川市議会 議会報告会 開催概要

○目 的

市民に開かれた議会となるよう、議会の運営状況並びに審議内容及び審議結果について、市民に直接報告し、市政に関する意見、提言等を聴取するため議会報告会を開催するもの。

○実施主体 深川市議会 議会報告会実行委員会

○開催日時 令和8年6月3日（水） 18：00～20：00

○開催場所 深川市経済センター

○参加人数 参加者29人、議員14人

○開会挨拶 深川市議会議長 近沢 弘幸

○第 1 部 委員会の活動報告

①総務経済常任委員会報告

②厚生文教常任委員会報告

③予算審査特別委員会報告

④議会改革特別委員会報告

（当日参加者へ配布した資料は、別途ホームページに掲載しています）

○第 2 部 市民の意見を聴く会

○閉会挨拶 議会報告会実行委員会 副実行委員長 山本 時雄

開会挨拶

深川市議会議長 近沢 弘幸



本日は、お忙しい中、深川市議会議会報告会に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃から市議会活動並びに市政運営に対し、深い御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化の進行、地方分権に伴う行政課題の複雑化、エネルギー価格や物価の高騰などの影響により、厳しさを増しております。このような中、市議会にはこれまで以上に大きな役割が求められています。

市議会では、市民の皆様により開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しております。本日の第1部では議会活動の報告を行い、第2部ではグループに分かれ、「深川の暮らしでもっとよくしたいこと」をテーマに、皆様の御意見をお伺いします。いただいた御意見は、今後の議会での議論を通じて、市政への提言や行政運営のチェック機能の充実に生かしてまいります。また、市民福祉の向上と市政の発展のため、皆様の期待に応えられる議会づくりに努めてまいります。

本日の報告会が、皆様にとって有意義な意見交換の場となることを願い、開会のあいさつといたします。どうぞよろしくお願いいたします。

委員会報告① 総務経済常任委員会

◆委員会構成

委員長 宮澤 孝司

副委員長 伊藤美恵子

委員 北村 薫、有働 正夫、新田 旺
松本 雅祐、佐々木一夫



宮澤総務経済
常任委員長

<報告内容：水道料金の見直しについて>

水道事業の運営に係る経費は、水道料金収入で賄われていますが、これまで29年間にわたり消費税の増税以外での料金値上げは実施していませんでした。人口減少や節水意識の向上によって、水道料金収入は減少し続けている状況から、今後、老朽化した水道管の更新が滞ることや将来世代への負担増が懸念されます。

また、滞納整理を強化し収入確保を図ることや工事コストを削減するための工夫、さらにはスマートメーターの導入を検討し、検針の効率化や利用者サービスの向上を図るなど、将来まで水を安定して供給するための市の方針を確認しました。

こうした審査の結果、水道料金の値上げが必要であると判断し、令和7年第4回定例会において、賛成多数で可決しました。

委員会報告② 厚生文教常任委員会

◆委員会構成

委員長 田畑 陽美
副委員長 村上 誠
委員 鶴岡 恵司、大前 昭代
山本 時雄、松原やす子



田畑厚生文教
常任委員長

<報告内容：北新小学校の統合について>

北新小学校の統合は、地元町内会や保護者有志などの要望を踏まえ、市と教育委員会において検討が進められました。具体的な要望として挙げられた、スクールバスの運行は対象となる全小中学生を乗車可能とすること、学童保育の継続実施、精神的な負担が懸念される児童への配慮として、統合前の交流学习の実施や、北新小学校教員の一已小学校への配置替えの検討など、具体的な対応方針を確認しました。

こうした審査の結果、北新小学校の統合について、統合に伴う影響を踏まえ適切な対応が図られることを確認し、令和8年第1回定例会において、全会一致で可決しました。

委員会報告③ 予算審査特別委員会

◆委員会構成

委員長 松本 雅祐
副委員長 新田 旺
委員 その他全議員



松本予算審査
特別委員長

<報告内容：令和8年度当初予算について>

令和8年第1回定例会において、深川市まちなか交流施設「ふかふか」の開設費を含む過去最大規模となる全会計総額354億5,498万円の予算案が提案されました。

深川市まちなか交流施設「ふかふか」は、令和8年11月のオープンを目指して整備が進められており、本施設の開設に当たっては、国の補助金などを活用し、市の負担をできるだけ抑える工夫もされています。

また、国の交付金を活用した物価高騰対策の各事業費をはじめ、老朽化した水道管の改修工事費など、予算が増額となった主な要因を確認しました。

このように、物価高騰への対応やインフラ整備など、市民生活に密着した事業内容や、それら事業の必要性、効果を確認した上で、全会計予算案について、全会一致または賛成多数で可決しました。

委員会報告④ 議会改革特別委員会

◆委員会構成

委員長 鶴岡 恵司

副委員長 田畑 陽美

委員 有働 正夫、伊藤美恵子

宮澤 孝司、松本 雅祐



鶴岡議会改革
特別委員長

＜報告内容：議会基本条例とペーパーレスの推進について＞

市議会では、議会改革の取組として市民への情報公開や説明責任、市長との健全な緊張関係の保持といった議会の基本的な姿勢や守るべきルールを定めた議会基本条例を策定します。

また、本会議や委員会におけるペーパーレス化については、令和7年12月からタブレット端末を導入し、紙媒体との併用による試験運用に取り組んでまいりました。その結果、導入から半年で紙5万枚以上の削減効果に加え、職員の事務作業の軽減にもつながることを確認しました。現在は本格運用に移行し、本会議や委員会における資料はできるだけペーパーレスとするよう努めています。

今後も市民に開かれた議会を目指し、様々な視点から議会改革の取組を検討してまいります。

▼▼ 委員会報告に対する質疑応答 ▼▼

(1) 水道料金の見直しについて

Q 深川市の上下水道について、更新のための費用も関係していると思うが、どの程度の範囲（町内、条丁目など）、総延長が何キロメートルまで更新作業が進んでいるのか、また今後の改修計画についてお知らせ願いたい。

A 上水道については、管路延長 369.85kmのうち、法定耐用年数を超過した管路は 157.08kmであり管路全体の 42.47%です。

下水道については、公共下水道布設延長 164.64kmのうち、法定耐用年数を経過した管路は 6.21kmであり管路全体の 3.8%です。

近年では、本町通りの1番から11番までの国道及び道道について、国や北海道の道路整備に合わせて上下水道を整備しています。

市としては、法定耐用年数を過ぎたからすぐに壊れるというものではないため、一律、順番に更新するのではなく、漏水調査結果などから更新・改修箇所を決めているほか、無電柱化事業や道路事業などと連携しながら、老朽化した水道等の整備を進めている、との説明を受けています。

Q 水道料金の値上げは、これから 30 年、50 年と人口減少を踏まえて試算をされた結果ということか。

A 人口減少を加味した試算をしています。価格改定は、水道企業団の値上げや人口減少による料金収入の減少が大きな要因となっています。

(2) 深川市の財政について

Q 先だって、深川の財政赤字は全道で 2 番目という報道があったと聞くが、いつからそのような状態になっているのか。深川市の財政は大丈夫なのか。

A 人口減少もあり税収が減少するなど厳しい状況です。深川市としても悩みながら財政運営をしています。現時点で赤字という事実はありません。

意見を聴く会

「深川の暮らしでもっとよくしたいこと」をテーマに、少人数のグループに分かれて市民の皆さんの意見を伺いました。

各グループでいただいた主な意見の内容をご紹介します。

— 日常の生活に関して —

<要望>

- 東屋が撤去されるなど、公園に日影がない。暑さをしのげる木陰のある公園を造って欲しい。
- グリーンパークなど、水に親しむはずの公園が水の出ない状態になっている。暑い夏に子どもが水辺で遊べる公園にして欲しい。
- カラスやキツネに餌を与える人がいる。町内会長にお願いしてやめるよう注意してもらったが改善しない。市としても餌やりの注意喚起をお願いしたい。
- 歩道を歩いているとかなりガタガタで改修が必要なところが多いと感じる。車道の改修が優先されていると思うが、高齢者の通行に支障があるので歩道の補修もして欲しい。
- 冬の道路除雪の際、ごみステーションに雪を置いていかないで欲しい。町内会の高齢化が進んでおり、ごみステーションの除雪が大変になっている。
- 交付金の電子クーポンがわかりづらかったのもっと工夫していただきたい。
- 病院の診察時間の関係、診察時間より会計の待つ時間の方が長い。もっとスマートにして欲しい。
- 深川では生徒同士でカラオケに行くことを校則で禁じているが、親が了承しているなら OK にしてほしい。

<意見>

- 老朽化した水道管について、どこの地区が多いとか、場所が分かるよう示して欲しい。その方が市民は、どこに老朽化した管がどれだけあるか把握でき、料金改定などの理解が得られるのではないだろうか。
- 更進地区～深川中心部へのデマンド交通が減便された。隣接する旭川と芦別は充実している。

- 音江地区から深滝線が廃止された後、小型バスの運行はできないのか。ライドシェアの導入はどうか。
- 深川市の公園をリサーチしたが、老朽化した遊具が多かった。公園の管理はどうなっているのか。
- 市内には、1～3 歳の小さい子が遊べるような公園がない。今後整備する方針はあるのか。
- ごみボックスを歩道に設置している町内会がある。市のごみボックス設置補助の要件には私有地に設置することになっているはず。高齢者が歩道を自転車で通行する際も危険である。
- 本年9月から生活道路（4 m未満）の法定速度は30km/hへ引き下げられる。新たな標識は設置されず、知らない市民が多いと思うので周知が必要では。
- エゾシカやヒグマなどの対策として、他の地域では赤外線での調査を行っているが、深川市はどのような取組を行っているのか。都会も熊の出没が相次いでいることから、有害鳥獣駆除、有害鳥獣の対策を何とかしてほしい。
- JRが少なくなってきた、公共交通が不便で困っている。
- 移住定住のPRをもっとしていけばいいのではないかと。深川市は札幌まで高速道路で1時間、旭川も30分程度で行けて、生活する上で利便性が良い。
- PR発信をもっと積極的に行うべきではないか。安心除雪サービスなど便利なサービスはいくつか見られるが、十分に知られていないのではないかと。
- 深川で生活をし、結婚、子育てなどを考えると賃金が安いと思う。余裕を持って暮らしていける様な街にしていけないといけないと思う。
- 「ふかふか」をどうして建てることになったのかがわからない。深川には大きな建物があるのに新しいものを建てて大丈夫か。古い建物を活用できなかったのか。借金が増える。
- 「ふかふか」の説明会に出てシェアカフェの話を聞いた。指導してくれる人は旭川の人だった。札幌の友人に言ったら、札幌だったらうまくいくかもしれないが、人の少ない市では難しいのではないかと。ただちょっとやってみたいと思っている人にはチャンスだと思うし、調理の道具やガス代等の使用料がとても安い。
- 市内循環バスは、市内中心部が主で、少し離れたところの人は利用しづらい。「ふかふか」を使用する人も交通手段がないと利用できない。
- 予算の中で、市立病院に11億円出している。経営的に悪い。これからも膨らむのでは。市立病院をどのようにしたらいいのか。

— 深川市の将来について —

<意見>

- 本市は農業がメインの地域であるが、商業の活性化にも取り組むべきでは。
- 市営住宅の住み方や暮らし方、家族単位だけではなくパートナーなど多様な暮らし方を受入れるべき。
- 拓殖大学北海道短期大学の跡地はどうなるのか。今後の利用について考えるべきである。
- 本市は音楽活動が盛んなので、音楽に関係する学院や大学を誘致するのはどうか。
- 人口減少、人手不足により外国人材を頼る部分もあるが、若い人たちが地元に残ってもらえるような対策を考えていくことが大事。
- 仕事の間が限られている。産業などの誘致をもっとやっていくこと、また基幹産業を生かして雇用を増やせるような取り組みを考えては。

- まちなか交流施設「ふかふか」は、ずれているのではないか。箱物をどうしていくかといった考え方やあり方を検討する必要があるのではないか。また、それを市民に示していく必要があると思う。
- 空き家対策として、コンパクトシティ化の考えが必要では。
- 観光客を町なかに呼び込むような街づくりを考えては。
- 将来、子供たちが背負っていかなければならない公共施設の今後の考えをしっかりと整えておくべき。
- 子ども・子育て政策は良いと思うが、子供を増やすためには、まずはそうなるような環境を整える必要があると思う。
- 子供たちに地域の魅力を知ってもらう機会（教育）が必要である。
- 深川市は何を目指すのか？福祉か、農業か、経済か。ビジョンがわからない。
- 深川市の委託事業所はやめているところが増えている。行政はどう考えているのか。先が見えない。
- 障がい者のグループ施設が減り、発達障がい児も増えて、放課後データービス施設も定員で一杯。北空知の経済力が弱いので、福祉の持続性を維持するのが難しいかも。
- スクールバスに子どもだけでなく、通院などで大人も利用できないか。
- 生きがい文化センターにお金をかけてアドバイザーを入れているが、どうするのか。

— 市議会・議会報告会に対する要望 —

- 議会報告会が平日の１８：００～２０：００の開催時間では来られない人もいる。開催日時、ZOOM等の活用、開催回数を検討すべき。
- 議員は市民の声を聞いていない。もっと市民との交流（小さな意見交換会など）をすべきである。
- 議員について、定数を減らし、定年制を設け、議員報酬のアップを検討してはどうか。



⑥ 2部意見を聴く会の内容は	参加（発言）しやすかった	参加（発言）しづらかった	無回答
	9	0	13
⑦ 上記感想	私の入ったテーブルは議員さん2名に対して市民が3名だったため特に話し易かったと思います、このように話し易い場で初回でしたが参加して良かったと思いました。		
	2～3人のグループでしたが意見が7～8件ありました、深川の未来が明るくなると感じました。（人口減少等の課題はあると思いますが）		
	他の方の考え方が解って良かった、同感することも多かった。		
	参加者が少ないのが残念です。		
	話が出来て良かった。後は市民の立場を考えて動いてほしい。でないと、議員の意味はなくなると思う。		
	Eのシマの意見を伺っていたが、よく聞き取れなかったです。もう少し、シマとシマの間隔を開けた方が良いのではないかと思います。30～40代の市民の参加が少ない気がする。		
	グループ的に意見が多かったと思う、クマの問題、ゴミボックスの除雪問題、（北海道の真中）深川の地理位置が便利。		
	学校現場の状況、今少し承知していない事を知る。ゴミボックス設置場所を検討しなくては。		
	意義ある内容説明で意見を交換できました。		
	意見を聴く会については、今後継続実施を願いたい。		
	狭い場所で回りがうるさかったが内容は良かったと思う。参加人数が少ないのでは。		
⑧ その他、議会に対してのご要望等をご記入ください。	活動の様子をもう一寸市民に解るようにしてほしい。こうやって市議と市民が話せる場があると嬉しいです。		
	企画運営お疲れ様です。		
	日々の深川のために、頑張ってください、感謝しています。		
	今後もこのような機会をお願いします。深川のことをよく考えるきっかけになります。		
	もっと市民の話を聞く機会を作ってほしい。		
	深川図書館にて深川市さんの議会だよりの拡大版を昨年2月頃拝見し、重要だと思われる記事はコピーしていただきました。市と町の違いはあるかもしれませんが、私の街の議会だよりの議会の仕組みの説明記事が多く、今後の自身の活動に応用していこうと思います、本日はありがとうございました。		
	今後の議会の発展に期待します。		

閉会挨拶

議会報告会実行副委員長 山本 時雄



本日は、大変長時間にわたり御苦勞さまでございました。
昨年に続き、2回目の議会報告会として開催させていただきましたが、多くの市民の皆様に出席いただきましたことに、心より感謝を申し上げます。

今回は、2つの常任委員会、予算審査特別委員会、そして議会改革特別委員会の活動について報告させていただきました。

第2部では、「意見を聴く会」として、初めての取組を行わせていただきました。数多くの御要望や御意見が寄せられ、最後に全体の場でそれぞれのグループから報告がありましたが、いずれも大変貴重なお話であったと感じております。

行政が取り組むべきこと、そして我々議会が課題解決に向けて力を入れていくべきことが示された内容であったと受け止めております。

私ども議会といたしましても、本日出された御意見に真摯に向き合い、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

本日は長時間にわたり御協力をいただきましたことに、心より感謝を申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございました。

議会報告会実行委員会

司会進行	有働 正夫	実行委員長、山本 時雄	副実行委員長
報告者	宮澤 孝司	総務経済常任委員長	
	田畑 陽美	厚生文教常任委員長	
	松本 雅祐	予算審査特別委員長	
	鶴岡 恵司	議会改革特別委員長	
文書記録	大前 昭代	副議長、村上 誠	議員、佐々木一夫 議員
記録写真	新田 旺	議員	
事前準備	伊藤美恵子	議員、新田 旺	議員、松原やす子 議員
受付	北村 薫	議員	